



The Gunma association of certified
Care Workers News
一般社団法人 群馬県介護福祉士会 ケアワーカーズ・ニュース

■発行 一般社団法人
群馬県介護福祉士会事務局
〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町 13-12
群馬県社会福祉協議会 福祉サポーター支援課内
TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173
URL <http://www.gunma-careworkers.net/>
E-mail info@gunma-careworkers.net

Vol.60 2014. 10

関東甲信越ブロック研修会 IN 新潟

～参加しての報告と発表終えて感じたこと～

10月3日(金)、4日(土)と新潟県で第21回 公益社団法人日本介護福祉士会 関東甲信越ブロック研修会が開催され、参加させていただきました。

1日目の基調講演では厚生労働省の方に「福祉・介護人材確保に係わる施策動向」についてご講演を頂き、その後は「施設介護」「在宅介護」「人材育成・教育」と3つに分かれそれぞれの介護福祉士の役割について分科会がありました。私は「人材育成・教育における介護福祉士の役割」の分科会に参加しました。現状、介護の現場では介護職員の離職率の多さ、人材不足という話を多く耳にします。この分科会に参加し人材育成やリーダー育成が、職員の成長に繋がり定着率にも繋がるのではないかと改めて実感しました。

夜は懇親会に参加し、他県の方達と交流を持ち色々なお話を聞く事が出来ました。ご当地の料理を食べながら介護の悩みや情報交換をしたり、とても貴重な体験をすることが出来ました。

2日目は、樋口先生の記念講演会がありました。とても明るくユーモアな樋口先生のお話を聞いて元気が出ました。樋口先生のように歳を重ねて行きたいと思いました(笑)

2日間とても貴重な体験が出来ました。事務局の立場で皆さんに何が出来るのか??今後どんな風に介護福祉士会の名を広めて行けるか??会で行われる研修や交流会を通して会員さんと情報共有や悩みの窓口になれば良いな・・・と思いました。

来年は長野県で開催されます。軽井沢の綺麗な紅葉を見ながら皆さんで出かけましょう!!

常任理事 酒井 三恵子

10月3日(金)、ANAクラウンプラザホテル新潟で行われた、第21回 公益社団法人日本介護福祉士会 関東甲信越ブロック研修会の分科会に参加して参りました。

今回の研修会テーマは「専門職 介護福祉士の役割」～みんなで創る介護の未来～とされ、分科会は、第1分科会「介護施設における介護福祉士の役割」(山梨県・埼玉県・栃木県介護福祉士会)、第2分科会「在宅介護における介護福祉士の役割」(東京都・長野県・茨城県介護福祉士会)、第3分科会「人材育成・教育における介護福祉士の役割」(千葉県・神奈川県・群馬県・新潟県介護福祉士会)で行われました。

群馬県介護福祉士会は第3分科会の中で「認定介護福祉士について」という項目を担当しました。当日は、認定介護福祉士モデル研修で行った研修内容で、人材育成や教育を行う中で有効と思われる内容を抄録として提出してあったため、その研修で行った内容を簡単に説明させていただきました。同じ第3分科会では、千葉県介護福祉士会より「介護福祉士によるアセスメントプロセスの検討」、神奈川県介護福祉士会より「リーダー育成を目指して」、新潟県介護福祉士会より「実習指導者フォローアップ研修の実施方法とその効果の考察」が発表されました。

助言者の大妻女子大学 人間関係学部 教授 佐藤富士子氏より、実践事例報告や考察、先行研究、原著論文など、自分たちが行っていることをまとめて発表することが大切であり、『介護』の分野では『研究』という部分が未だに少ないため、普段から研究的な視点をもって実践を行い、今後研究発表を行ってほしいとの言葉をかけていただきました。

介護福祉士が専門職であるために、実践を可視化し、根拠や理論に基づいた介護を行っていくことで、今後に向けて、より多くの研究や検証を行い、有益な介護を実践していく必要性を強く感じた分科会でした。

理事 下前 剛次



会員アンケートに基づく今後の方向性

介護福祉士会の会員アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。

現在の仕事で困っていることはありますか？の質問では複数選択できるもので、多く頂いた中での集約結果は以下の通りになりました。

- ①雇用条件
- ②業務量の多さ
- ③スーパービジョンやコンサルテーションを受ける機会がない
- ③職場内における人間関係の順位となりました。

どんな研修に参加してみたいですか？の質問で、

介護技術系では移動介助

介護知識系では個別ケア

介護教養系ではアロマセラピー

人材育成系では中堅職員、リーダー向けの研修

の意見が多く寄せられました。

以上のアンケート結果をもとに、理事会や各委員会で検討させて頂き、今後の研修等に繋げて行きたいと思えます。

ご協力ありがとうございました。

理事 矢嶋 栄司

4 支部合同施設見学会

4 支部合同施設見学会ということで伊勢崎市にある介護老人保健施設アルボースへ行ってきました。

アルボースでは居宅サービスとして通所リハビリテーション、短期入所療養介護、二階に一般棟、三階に認知症棟とユニットがあり、各棟のフロアは広く御利用者様は移動し易いようにテーブルを配置するよう配慮されています。

居室は通常のベッドの居室と和床の居室とあり、御利用者様によってはベッドの高さを低いように設定するなど配慮したものになっており居室は綺麗に整っていたと私は思いました。

ユニットはこじんまりとした作りでフロアは見渡しやすく常に職員と御利用者様は近い位置にいました。

アルボースでは「明るさ」「爽やかさ」「清潔」「落ち着き」を理念に運営されている施設で、館内はとても落ち着いた雰囲気職員の方は、見学に来た私たちに笑顔で挨拶されました。

身体拘束廃止が進んでいる施設で御利用者様は自律を持って生活しており、常に職員が御利用者様の近くで寄り添い、利用者様も笑顔で理念の通り明るい雰囲気でありました。

施設を見学した際に丁度音楽のレクレーションだったようで音楽の先生がピアノを弾き御利用者様は歌っていました。参加されている御利用者様は多く楽しそうでした。認知症棟ではその性質上あまり物を周りに置くことができない代わりに、御利用者様の施設生活の様子の写真が掲載されていました。これは御利用者様の御家族が面会に来た際に近況を知る上で役に立つ物であり、御利用者様の笑顔が写っている写真を御利用者様の御家族が見たらとても喜ぶそうです。

御利用者の食事のメニューは写真付きで掲載されており、毎週金曜日の昼食には二品の中から選べるようになっておりました。写真で写すことにより食事が美味しく写りそれにより食事が楽しくなり、私自身大変参考になりました。

全体的に明るく落ち着いた雰囲気御利用者様は明るく落ち着いて過ごしており、職員の接遇も素晴らしい施設で私自身勉強になりました。アルボースの皆様、お忙しい中見学させて頂きありがとうございました。

北毛支部広報委員 安藤 貴



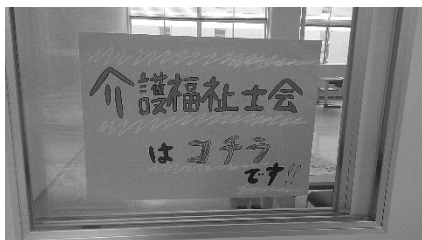
北毛支部**「学園祭に参加しました」**

9月27日に高山村にある群馬パース大学福祉専門学校
の学園祭に招待をして頂きました。

学生の皆さんへのPR活動が中心となり、私たち
介護福祉士会の目的や活動内容を説明し興味や関心
を持って頂く事ができました。とても熱心に聞いて
いただいたことで、養成校の学生さんへの働きかけ
はとても大切であることが実感できました。

これからも地域の活動に積極的に参加し、介護福
祉士会の取り組みや地域福祉の向上に繋がる活動を
続けて行きたいと思えます。

北毛支部支部長 阿部 岐洋

**東毛支部****「介護福祉士として大切にしていること」**

私が大切にしていることは、日々の努力と経験で
す。

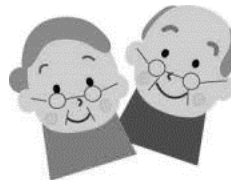
日常生活を営むのに支障のある高齢者や障害者に
対し食事・入浴などの心身の状況に応じた介護サー
ビスの提供や指導を行う『プロ』となるための基礎
にあるからです。

私たちは、日々勉強させて頂いている立場です。
偉いとか偉くないとか関係ありません！利用者さん
は職員をよく見えています。

職員との連携や利用者
さんとのコミュニケーションも必要です。今後も
お互いに一生懸命！頑張
っていきましょう。

(なお写真は勤務先の施
設長とのものです。)

東毛支部広報委員
細川 秀人

**支部の
ページ****中毛支部****『ちょっとのぞいてみませんか?』**

中毛支部ではみんなで話ができる場所を提供して
おります。

みなさん色々な事業所からきてるので、普段は
聞けない裏話などたくさん聞けますよ。会員に限ら
ず、どなたでも参加OKです。

毎月第3火曜日 19時～前橋総合福祉会館です。ぜ
ひ一度のぞきにきてください。

中毛支部広報委員 下田 勇

**西毛支部****「小規模施設でも行えるレクリエーション」**

今回紹介するのは、身体を使ったゲームで、片麻
痺の方でも参加が出来るものとなっています。

1つ目は『城崩しゲーム』です。ダンボールで作っ
た「城」にボールを当てて崩すゲームです。

①城の作り方は空き缶を5つ程度立て、その上に段
ボールを置く。更に上に空き缶、段ボールと積み重
ねる。

②ボールの作り方は紙を丸めてテープで固定し、大
きめのボールを作る。

③ルールは2チームへの対抗戦で行います。1チーム
ごとに円を書くように丸くなり、中央に城を置きま
す。スタートの合図とともにボールを一斉に投げ合
い、早く崩したチームの勝利となります。勝ち負け
が分かりやすく、派手に城が崩れた時は歓声も上がり
盛り上がるゲームです。

2つ目が『しゃかしやかゲーム』です。砂時計のよ
うに、振ることでペットボトル内のビーズ等を移動
していくリレー形式のゲームです。

①道具の作り方は同じ形のペットボトルを2本用意
中にビーズや鈴、折った割り箸等を入れ、ペットボ
トルの口を合わせてテープで固定する。

②ルールは2チーム対抗戦で行います。チームごと
に横並びになり、端の人からスタート。ペットボ
トルを振ることで、中に入れたものが下に落ちてい
きます。下に落ち切ったら隣の人に渡し、ペットボ
トルをひっくり返し再度振る。落ち切ったら隣の人
・・・というように繋げていき、早く終わったチーム
が勝利。

どちらも盛り上がるゲームです、是非やってみて
ください。

介護老人保健施設うららく作業療法士 榎本 章人

生涯研修体系研修

ファーストステップ研修の学び

「家族と地域の支援力の活用と強化」講師：認定 NPO 法人じゃんけんぼん理事長 井上 謙一 氏

- 目的**
- ① 利用者と家族の双方の想いや葛藤を理解し、適切な対応ができるようにする。利用者や家族の潜在的な希望や意欲を引き出せるようにする。
 - ② 利用者が豊かに生活するうえでの友人・知人・ボランティアなどの大切さ・意義を理解し、活用できるようにする。
 - ③ 相談援助技術等、ソーシャルワークの技術を活用した関わりや働きかけを行うことができるようにする。

私が考えていた「地域の繋がり」は、ボランティアを呼び交流をする事だと考えていた。しかし、実際の講義を聞き「地域の繋がり」というのは地域の中で協力して見守り、見守る事により在宅で自分らしく暮らす事が可能になる。夜間など、ケアが必要であれば施設に泊まって頂く。地域との繋がりには、地域と職員がコミュニケーションを図り信頼関係を得ないと出来ない事だと感じた。

様々な法改正があるので常に勉強する事が大切で、勉強する事で寄り良いケアが実施できると思う。(A.N)



「職種間連携の実践的展開」 講師：群馬県介護福祉士会 顧問 田村 尚

研修を終え、普段の仕事の中でいかに「連携」「チームアプローチ」が大切であるか、それを行うのはいかに難しいのかということを感じました。特に事前課題を使った演習では他職種、他事業所における葛藤ということがテーマでしたが、話し合いの中でも医療職との連携というに集中していたので、普段の仕事の中で身近な存在でありながらも連携に苦戦しているのかという事を実感しました。

私自身、連携を図る上で介護福祉士としての専門性を発揮しながらも他職種の専門性を理解し、同意ではなく合意の元でチームアプローチを図れるような支援をしてゆきたいと思います。(M.Y)



「観察・記録の的確性とチームケアへの展開」 講師：群馬医療福祉大学 片桐 幸司 氏

- 目的**
- ① 不十分な記録の背景にある、不十分な関わりや不適切な介護過程について指摘できるようにする。
 - ② 記録の意義、機能、方法について、後輩等に指導できるようにする。

観察や記録は 5W 1H が世界共通の言葉と思っていましたが、片桐先生の話で 4W 1H が世界共通であると聞き、私にとって「目から鱗」の思いでした。

「観察」「記録」は利用者中心にすることを学ぶと同時に、普段記録を人目にさらす事を考えるとつい受け身になってしまう自分に気が付きました。これからは利用者中心の世界を「観察」「記録」してゆくことを心掛けてゆきたいと思います。(匿名希望)



現在の会員数

群馬県介護福祉士会の会員数は、

『747名』です。

【平成 26 年 9 月末現在】

■編集後記

晩秋の候いかがお過ごしでしょうか、先日の関ブロでは、講師の樋口先生が「人生 100 年」とおっしゃっていました。自分にあてはめてみると、まだ 3 分の 1 しか過ぎていません。残りの 3 分の 2 のなかでどんな事が待ち受けているのか楽しみです。ちなみに、来年の関ブロは長野県、場所は軽井沢プリンスホテルだそうです。

中山